

 西南学院大学
 図書館報

No. 6 5

1975年 7月3日発行

福岡市西区西新6丁目

西南学院大学図書館



漱石初版本

名誉教授 坂本重武

先日英文学会で上京したとき、古書展の広告を見たので、小田急デパートの11階まで登って会場を一巡して見た。眼についた本もないではなかったが、何しろ、そろそろ蔵書の整理をはじめねばならない身辺の状況ではなかなか買う気になれなかった。ガラスの陳列棚のなかには明治の初版本がならんでいた。漱石も5・6冊あったが、高いものは6万円、やすいもので3万円ぐらいの札がついていた。それから、一週間後、日本比較文学会で江藤淳氏の漱石に関する研究発表を聞いた。そのなかで、氏は『漾虚集』について言及され、その表紙・カット・ボーダーなどのカラー写真を示された。私はしばらく忘れていた漱石初版本についての興味を急によびさまされ、帰宅すると早速所蔵本をさがして見た。私が漱石をはじめて読んだのは中学3年で、『坊ちゃん』『猫』『草枕』『虞美人草』といったところから始めた。あるものはもちろん半わかりで読んだ。五高にはいると、漱石はかつて五高の先生であったし、三四郎も五高卒業であったし、『漱石全集』を図書館の元版で通読した。ある時書翰集を読んでいると、漱石の手紙のなかに当時私が教わっていた漢文の先生の名前を発見して大変面白く思ったことを覚えている。しかもそれはその先生についての漱石の就職推薦状であった。昭和初年^{えんぽん}円本流行時代に私は全集普及版を買った。しかし、普及版というだけあって、ただ読むだけの本であった。そのころ私は古本屋で『三四郎』の初版本を見付けた。値段は4円か5円であったと思う。『三四郎』の初版は麻のガーゼのような布袋でクローバの花の図案がある。それを買ってから、ひとつ漱石の全作品を初版本で集めようかと思った。しかし、それは私の

すべての計画と同じように挫折した。それでも、6冊ぐらいいは集めた。さて、本棚のすみに積んである本のなかから、漱石らしいのを1冊探し出した。この本は数次の引越しで乱暴に取り扱われたと見えて背がとれてボール紙が露出している。だから表題がわからない。中表紙を見ると、『四篇』である。「文鳥」ほか3篇を集めたものである。初版本と言っても背なしになっては台無しである。漱石初版本のなかで一番装丁が立派なのは『彼岸過迄』であると思う。橋口五葉の絵で実に綺麗である。(写真版は昭和41年版『全集』附録月報第5号に出ている。)したがって、私はこれを受蔵していたのであるが、私の長男が少年のころこの愛蔵初版本を読んで表紙をはずしてしまった。私はこれを知って、普及版で読めば充分なのに、この愛蔵本をこわしてしまうなんて、なんということかと、腹が立つより、悲しかったことを覚えている。私の初版本のなかでただひとつ完全な姿を保っているのは、(もちろん美本ではないが)、『門』である。これは発売当時の外箱がついている。このほかに、私は『草合』と『明暗』を持っているはずであるが、今のところ見当らない。たぶんは物置のダンボール箱のなかにあるだろうと思う。私の初版本は以上のように汚れたり、いたんだりで散々な状態であるが、そもそも漱石の初版本は見かけは立派であるが製本は実にぜい弱であるためである。もし、完全な状態の初版本を見たいと思うならば、近年、日本近代文学館から出た名著複刻全集本がある。『猫』『三四郎』『心』などで、手垢ひとつつかない状態で見ることができる。しかし、レプリカはやはりレプリカでしかない。(元図書館長 現理事長・院長事務取扱)

『写真集・武蔵野』が書架に出るまで

整理係 府川 洋子

図書館に並んでいる本をみて、どんなことを感じますか。「図書館の人はいろんな本が読めていいな。」なんてまさか思っているはいないでしょうね。事務室で行われている仕事を5月に購入希望のあった本を例にとって、ごく簡単に紹介してみましよう。

① まず奉仕。受付、貸出がおもだった仕事ですがここは利用者と直接図書館が対応する唯一の窓口でもあります。千差万別の質問や、複写サービス、指定図書・新刊棚の管理、掲示、日々利用者の統計をとるなど、種々雑多なことをしています。学生M氏の購入希望、田沼武能著『写真集・武蔵野』もここで開封され、関連のある先生や図書館の司書で構成されている司書会で選定し購入が決定されました。

② 受入。ここは重複調査、伝票作成、外部への発注・受取り、登録原簿記載、事務用著者目録の配列が仕事です。『武蔵野』はここでまず在庫がないかどうか、その重複を調べられた後、書店に注文され、現物が入って来ると、図書館の財産として登録原簿に登録番号と共に書名などを記入し整理に廻されます。

③ 庶務・会計。図書は直接廻って来ませんが、ここで図書の支払及び予算の配分、決算書作成、蔵書冊数の統計、それから用度品や郵便物の管理などが行われます。

④ 整理〔分類・装備・目録〕日本十進分類法（ND C）に従ってすべての図書を内容別に系統だてて分類し記号をふったものが分類です。特定の主題をもつ図書・資料を9個に区分し、1から9までの数字で表わす（類区分）即ち、1哲学、2歴史、3社会科学、4自然科学、5工学、6産業、7芸術、8語学、9文学と。9個のどれにも属さない百科辞典・総合雑誌のようなあらゆる事項を取扱ったものを、0総記としています。次にもう少しくわしい区分として各綱区分の中で分けられます。『武蔵野』は写真集ですから芸術の7、7の中にある“写真”で74、74の中に“写真集”748という項目があり、これに決まりました。本館では3段のうちの下段にその同じ部門の通し番号が入り、この3段を総称して請求番号といいます。分類に関してはこれくらいにしましょう。なにしろ分類だけで1冊の本があるくらいなの

ですから。

請求番号の決定した『武蔵野』は装備に廻され、蔵書印を押し、請求番号を明記したラベルやポケットを貼ります。これで、書架に並べる体裁が整いました。が、その前に目録作成のため目録係へ廻ります。

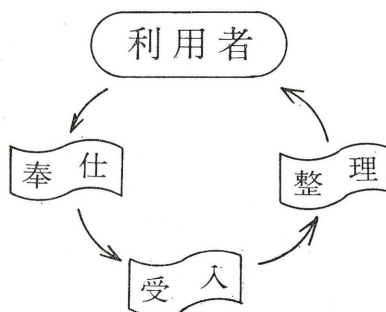
図書と読者（利用者）をつなぐ媒体として目録が必要です。目録は何十万冊という本のある図書館に来て目的

に応じた図書に出合う手ずるで、資料をより効果的に利用する為のものです。著者のはっきりしている場合は著者目録、主題（部門）で探す時は前述の分類の要領で分類目録、書名のわかっているものは書名目録で検索することが出来ます。

和書は和文タイプで、洋書は英文タイプで規定の様式で必要事項をタイプします。

『武蔵野』は和文タイプで請求番号、登録番号、価格、著・編者、出版地、出版社、出版年、頁数、大きさを目録用原紙に記入します。これで原紙は装備係で印刷して目録コーナーや事務室のカードボックスに配列され、『武蔵野』は4階開架閲覧室の748の書架に並びます。

以上1冊の本だけを追って見ますと書架に並ぶのに1日位しかありませんが、年間約15,000冊の本を書架に並べるまでには、それに付随するいろいろの仕事が複雑にふえて来るのも当然かもしれません。1日2回、返却されて来た本を元に戻したり書架の並びを是正する“配架”を館員一同でするのも図書館ならではの仕事でしょう。他に図書館では資料（雑誌の受入・管理、視聴覚機材の管理・保管など）や参考、国連寄託図書館関係の業務などがありますが今回は省略いたしました。



☆ ニュース・NEWS・お知らせ・INFORMATION ☆

<木村館長、再選される>

現館長は7月1日付で図書館長に再任されました。

任期はむこう2年間です。

<研修・出張>

九州地区大学図書館協議会総会及び私大九州地区協議

会 50. 5. 20 [於: 佐賀大学] 荒川司書出席

私大図書館協会春季西地区部会 50. 5. 23

[於: 久留米大学] 木村館長、刀根司書長、杉本課
長補佐出席

福岡県・佐賀県大学図書館協議会総会 50. 5. 30

[於: 九州大学] 刀根司書長出席

電算機HITAC講習会 50. 6. 11 ~ 13

[於: 天神ビル] 榎・荒川両司書出席

<積層書架工事開始>

6月中旬よりすでに開始されました。竣工は9月末の
予定。

<視聴覚機材購入される>

○ 複写機 (RICOH PPC900)

○ マイクロリーダープリンター

<49年度私大助成の図書が入りました>

○ 「芸文」付総目録 全27冊

○ Nouvelle Revue Française. Series 1. Vols.
1-58

○ Journal of the History of Idea. Vols. 1-27

○ The New American State Papers; Agriculture. 19 Vols.

○ Dictionnaire de la Langue Française du
XVI^e Siècle. 7 Vols.

○ Zeitschrift für die Gesamte Versicherungswissenschaft. Bde. 1-60

○ Journal of American Statistical Association. Vols. 1-64

○ Labor Arbitration Reports. Vols. 1-57

○ Bank-Archiv; Zeitschrift für Bank-und
Börsenwesen. Jgg. 1-43/Hefte 1-6

○ Die Gesellschaft: Internationale Revue für
Sozialismus und Politik. Jgg. 1-10/Hefte 1-3

○ Contributions to Mineralogy and Petrology.
Vols. 1-11

<文献複写新料金> 1枚につき

サイズ	RICOH PPC900	ゼロックス	マイクロフィルムからの引伸
B 4	2 5 円	3 0 円	B4 40円
A 4			A4 30円
B 5	1 5 円		B5 20円
A 5			

<人事異動>

50. 7. 1付 資料・和雑誌担当の箱田和子氏は、就職
課に転出、教務課より倉光恵氏が図書館へ。

告知板

○ 夏休長期貸出 すでに6月28日(土)より

9月17日(水)迄の約2ヶ月半と長期にわたる
特別貸出を行なっています。冊数は3冊以内。

○ 夏季休暇中の開館時間・休館日

月 ~ 金 9時 ~ 17時 } ただし学習室は
土 9時 ~ 12時 } 閉鎖。

なお、7月29日(火)・30日(水)は職員修
養会のため休館します。

○ 卒業論文特別貸出について

4年次生は卒論作成のための特別貸出をします。
通常の貸出のほかに3冊以内、1か月間利用す
ることが出来ます。

○ 卒業論文の閲覧手続 卒論作成の参考にゼミ
担当の教授の承認を得て諸先輩の卒論を閲覧す
ることが出来ます。希望者はあらかじめ受付で
閲覧票を貰って下さい。

<奉仕係より>

○ 新入生の皆さんも図書館利用に慣れ、6月は利用者
数の多い月です。また梅雨期でもあり、雨が降るたびに
傘の処理に頭をかかえ込んでいます。

玄関にビニール袋を置いてありますので、傘を袋に入れ、
各自傘を持って入館して下さい。また、貴重品の盗難が
続いています。貴重品には十分気をつけて下さい。

まもなく長い夏休みがやって来ます。暑さを忘れて読書
に親しんではいかがでしょうか。

昭和49年度 図書館利用統計

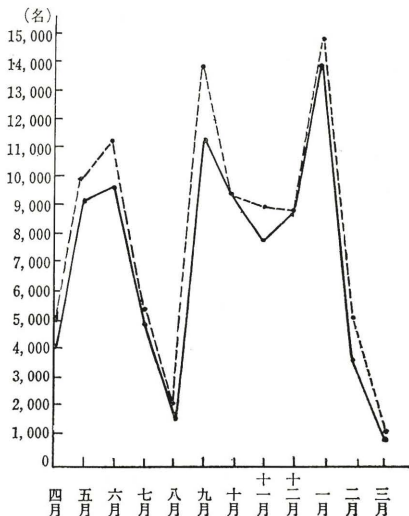
◀どんな内容の本がどれだけ増加したか

(昭和49年度増加冊数)

分類 区分	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工学	産業	芸術	語学	文学	
和書	275冊	716冊	578冊	3,279冊	482冊	260冊	628冊	356冊	365冊	826冊	7,765冊
洋書	677	524	380	1,743	150	203	352	32	507	2,267	6,835
計	952	1,240	958	5,022	632	463	980	388	872	3,093	14,600
前年度 和洋計	384	1,141	766	5,431	695	442	1,461	443	720	3,088	14,571

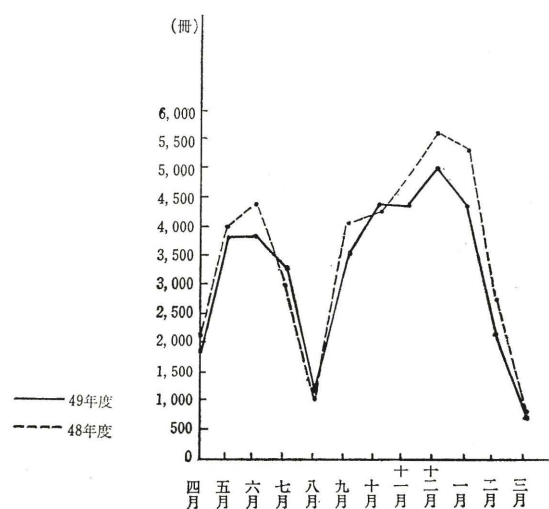
◀この2年間、図書館はどれだけ利用されたか。

表Ⅰ 2・3・4階開架閲覧室利用者数



学習室利用者数は48年度より学習室に職員を配置していないので正確には把握できませんが、47年度の2倍約150,000名にはなっているでしょう。

表Ⅱ 館外貸出冊数



○ 図書館がどのように利用されているか2年間の利用状況を表にしてみました。まず開架閲覧室利用者数ですが、前年度にくらべて幾分減っているのが目につきます。これは自由に出入りできる学習室および国連寄託図書館などの利用が多くなったことが原因だと思われます。

図書の貸出については、分類別によると歴史、語学がふえてきているようです。

○ 最近、文献複写の申込が多く49年度はかなりの件数になっています。新しく複写機を購入しました。乾式ですので永久保存できます。今後も十分ご利用ください。

○ 延滞金はかなりの金額になっています。これは決して喜ばしいことではありませんので、返却期限は必ず守ってください。

◀複写利用

ゼロックス	265件	{ 教員 243件 他大学より 22件 の依頼
電子リコピー		
学 生	793件	
教 員	168件	
公 用	248件	
特別利用者	111名	{ 本学卒業生 66名 そ の 他 45名
学生購入希望	126件	
投 書	4 件	
紛失(弁償)図書	39冊	
延滞金	406,599円	

昭和50年度 指 定 図 書 リ ス ト

(Reserved Books)

指定図書とは、講義担当の教授が、その講義に直接関連して学生に必ず参考にしてもらいたい図書を指定されたものです。年間を通じて2階閲覧室に備えております。

文 学 部 (教養課程)

フィルダー, L. G. <キリスト教学Ⅳ>	ラテン語入門 呉茂一	岩波書店
状況の倫理 岩村信二 ヨルダン社	西洋哲学史Ⅱ (中世)	
唐木田芳文 <地学>	ヒルシュベルガー	理想社
地球物理学入門 S. P. クラーク 共立出版	素顔のローマ人 弓削達	みすず書房新社
地球の探求 上・下 R. ムーア NHK	劉 三富 <中国語>	
日本地方地質誌 九州 松本達郎(他) 朝倉書店	中国民話及び読物選	光生館
清 田 正 喜 <日本文学>	月牙児 老舎	光生館
源氏物語 1-5 今泉忠義 桜楓社	林家鋪子 茅盾	光生館
小 樋 井 滋 <哲学>	宝船 老舎	光生館
西田哲学の根本問題 瀧沢克己 法蔵館	葉聖陶童話選 葉聖陶	光生館
西洋哲学史 岩崎武雄 有斐閣	シート, L. K. <キリスト教学二年次>	
哲学の課題 (岩波講座1) 岩波書店	あなたはどこにいるのか 宗藤尚三 新教出版	
<倫理学>	大胆に生きる 武田瑛四郎 聖灯社	
孤独と愛 ブーバー 創文社	光あるうちに 三浦綾子 主婦の友社	
西洋倫理思想史 小倉志祥 学文社	人間 Ⅱ 松木治三郎 日本基督教団	
市民社会と社会主義 平田清明 岩波書店	<キリスト教学三年次>	
森 泰男 <キリスト教学Ⅱ>	神 オット 新教出版	
イエスの復活の意味 マルクセン(他) 新教出版	神への誠実 ロビンソン 日本基督教団	
信ずること ネラン 新教出版	神の再発見 ドウザー いのちのことは社	
信ずるということ 椎名麟三 二見書房	神とこの世 マッコリー 新教出版	
宗教 飯島・吉沢 理想社	キリスト教教理 石島三郎 新教出版	
創造 C. ウェスターマン 新教出版	キリスト教の神 フェレー 新教出版	
<キリスト教学Ⅲ>	信仰の問題点 ルイス 聖文社	
ボンヘッファー伝1-4 ベートゲ 新教出版	使徒信条新解 バークレイ 日本基督教団	
平和の哲学 稲垣良典 第三文明社	宗教言語の哲学的分析	
慰霊と招魂 村上重良 岩波書店	マッキンタイヤー 理想社	
救済史の神学 山本和 創文社	宗教の哲学 ヒック 培風館	
抵抗と信徒 ボンヘッファー 新教出版	組織神学 シーセン 聖書図書刊行会	
<キリスト教学Ⅳ>	<キリスト教学四年次>	
カール・バルトのキリスト論研究	筑豊に生きて 犬養光博 日本基督教団	
寺園喜基 創文社	イエスの言葉による行動のための手引き	
新約聖書の倫理 ヴェントラント 新教出版	飯沼二郎 日本基督教団	
宗教とエロス シューバルト 法政大出版	怨怒の民 紙野柳蔵 教文館	
創造論 I/1・I/2・バルト 新教出版	新左翼とキリスト教的ラディカリズム	
<ラテン語初級Ⅰ>	ギッシュ 平凡社	
日々の讃歌・靈魂をめぐる戦い	渡 辺 泰 州 <生物学Ⅰ-Ⅴ>	
プルデンティウス 創文社	遺伝学概説 クロー 培風館	
古典ヒューマニズムの形成	遺伝と人間 ドブジャンスキー 岩波書店	
A・グウィン 創文社	教養の生物学 越田豊 培風館	
	山 中 耕 作 <日本文学>	

- 源氏物語 1-5 今泉忠義 桜楓社
 八田 正光 <キリスト教学Ⅰ>
 旧約聖書 関根正雄 創元新社
 旧約聖書概説 岡村民子 新教出版
 聖書の思想 秋田稔 塙書房
 聖書を読むために 新井智 筑摩書房
 信徒のための旧約聖書入門
 ローリン 聖文舎
 <キリスト教学Ⅲ>
 イエス ドッド ヨルダン社
 イエスの時代 ブラウン (他) 教文館
 ナザレのイエス トロクメ ヨルダン社
 <キリスト教学Ⅳ>
 山上の説教 アイヒホルツ 日本基督教団
 山上の垂訓 バルト (他) 新教出版
 新約聖書の中心的使信 エレミアス 新教出版
 新約聖書の倫理 ヴェントラント 日本基督教団

文 学 部 (英語・英文)

- 安徳 典光 <英作文>
 文体と文体論 ハフ 松柏社
 英語語法・あらかると 山田政美 文建書房
 翻訳一理論と実際 ブラウン 研究社
 日英語の比較研究 大江三郎 南雲堂
 日英語の対照研究 ジャクソン 大修館
 <商業英語>
 ビジネス・コレスポンドンス入門
 鈴木・中村 大修館
 貿易実務の英語 渡辺幸吉 南雲堂
 英語商業通信文 光井武八郎 北星堂
 効果的なビジネス・レター
 向高男・ディシェイゾ 大修館
 最新商業英語演習 伊東克己 南雲堂
 <演習>
 Alistair Cooke's America 開文社
 America Shults 英宝社
 America and Americans
 Steinbeck The Viking Press
 アメリカ文学とキリスト教
 Stewart 北星堂
 アメリカ文化の背景 Stewart 北星堂
 古屋 靖二 <英文学講読>
 Arthur Miller Corrigan Prentice-Hall
 <演習>
 リア王 (対訳評註) 斉藤勇 開文社
 Shakespeare: King Lear Kermode Macmillan

- 泉 マス子 <コミュニケーション概論>
 文化とコミュニケーション 加藤秀俊 思索社
 コミュニケーションの科学 田中靖政 日本評論社
 The Cultural Background of Personality
 Linton Appleton
 The Fundamental of Rhetorical
 Communication McCroskey 英潮社
 The process of Communication Berlo Holt
 <演習>
 Body Language Fast M. Evans
 Communication in face to face Interaction
 Laver Penguin
 Man's Many Voices Burling Holt
 A Manual for Writers Turabian Univ. of
 Chicago
 Speech Behaviour and Human Communication
 Borden Prentice-Hall

- 佐渡谷重信 <米文学史>
 アメリカ文学思潮史 福田陸太郎 中教出版
 アメリカ小説研究 1-5 佐渡谷重信 泰文堂
 現代アメリカ文学入門 龍口直太郎 評論社
 現代アメリカの小説家たち 龍口直太郎 評論社
 総説アメリカ文学史 大橋健三郎 (他) 研究社
 <比較文学>
 比較文学 ティーゲーム 清水弘文堂
 比較文学講座 1-4 中島健三 (他)
 清水弘文堂
 比較文学読本 島田謹二 (他) 研究社

- 安河内英光 <演習>
 アメリカの南部 井出義光 (他) 研究社
 現代作家論 大橋健三郎 早川書房
 今日の南部 モリス 興文社
 南部と南部人 マクギル 弘文堂新社
 閉ざされた社会 サザーランド サイマル出版

文 学 部 (仏語・仏文)

- 有田 忠郎 <フランス思想講読>
 サン・テクジペリの生涯 山崎庸一郎
 新潮社
 中村 栄子 <フランス語学概論>
 フランス語の歴史 シュルツ (他) 大修館
 現代フランス語のできるまで
 家島光一郎 (他) 白水社
 言語学事典 マルティネ 大修館
 西島 幸右 <演習>
 フランス革命の研究 桑原武夫 岩波書店

太田 和男 <フランス文学講読>

XX^e siècle Lagarde (他) Bordas

末松 寿 <仏文学>

ブレヒト戯曲選集1 ブレヒト 白水社

En attendant godot Beckett Minuit

ピランデルロ名作集 ピランデルロ 白水社

審判・変身・流刑地にて カフカ 新潮社

Théâtre, Tome 3 Ionesco Gallimard

<演 習>

Discours sur l'origine et les fondements de
l'innégalité parmi les hommes Rousseau

Gallimard

復活 上・下 トルストイ 岩波書店

戯曲全集4 ジロドゥ 白水社

パタゴニア探検記 高木正孝 岩波書店

Voyage autour du monde Bougainville

Rombaldi

商 学 部

古林 輝久 <経営労務論>

現代労働組合事典 編集委員会 大月書店

イギリス労働史研究 ボブスバウム ミネルヴァ書房

日本労働者運動史 全6巻 河出書房新社

労働組合運動史 上・下 ウェップ 日本労働協会

社会変革と労働組合運動 戸木田嘉久 大月書店

<労務管理論>

官僚制 アルブロウ 福村出版

労働者自主管理 岩田昌征 紀伊国屋書店

組織と管理 上・下 グビジアニ ミネルヴァ書房

余暇文明に向かって デュマズディエ 創元社

ユーゴスラビアの企業における労働者自主管理制度

ILO 至誠堂

後藤 泰二 <経営財務論>

株式会社金融論 馬場克三 森山書店

経営財務論 片山伍一 (他) ミネルヴァ書房

<演習 I・II>

株式会社の経済理論 後藤泰二 ミネルヴァ書房

企業金融論 広瀬雄一 森山書店

企業財務論 ペイシュ ミネルヴァ書房

土方 久 <簿記原理 I>

簿記教科書 沼田嘉穂 同文館

経営維持と利潤計算 エントレス ミネルヴァ書房

基本商業簿記 高田駒次郎 (他) 中央経済社

<会计学原理>

会計教科書 沼田嘉穂 同文館

会計理論の基本問題 馬場克三 森山書店

経営維持と利潤計算 エントレス ミネルヴァ書房

要説修正企業会計原則 横山和夫 税務経理協会

井上 康男 <原価計算論>

原価会計 マッツ 白桃書房

原価計算 松本雅男 国元書房

原価計算 岡本清 国元書房

原価計算論 平栗政吉 森山書店

管理原価会計論 牧戸孝郎 同文館

<管理会計論>

現代管理会計論 吉田弥雄 同文館

管理会計 松本雅男 丸善

管理会計研究 西沢脩 同文館

経営分析入門 西野嘉一郎 森山書店

糸園 辰雄 <商学総論>

現代商業学 橋本勲 ミネルヴァ書房

現代商業学 白髭武 白桃書房

現代商業経済論 森下二次也 有斐閣

小売商業構造論 荒川祐吉 千倉書房

商業概論 森下二次也 有斐閣

<中小企業論>

中小企業の国際比較 加藤誠一 東洋経済

中小企業論 藤田敬三 (他) 有斐閣

中小企業政策の史的研究 由井常彦 東洋経済

中小工業の本質 藤田敬三 (他) 有斐閣

講座中小企業 梶西光速 (他)

全4巻 有斐閣

小森 俊介 <マーケティング論>

広告計画 根本昭二郎 同文館

マーケティング 三浦信 (他) ミネルヴァ書房

流通経営論 山中均之 有斐閣

組織と市場 野中郁次郎 千倉書房

<広告論>

学際研究 シェリフ (他) 鹿島出版

意思決定の理論 (上) シュレイファー 東洋経済

行動科学のための多変量解析

クーリー (他) 鹿島出版

人間コミュニケーション アラングレン 鹿島出版

数量化の方法 林 知己夫 東洋経済

岡本 幸雄 <経営史>

アメリカ経営史 上・下 クリース ダイヤモンド社

経営史概説 野口祐 南雲堂深山社

経営史学 栗田真造 丸善

経営史学の展開 三島康雄 ミネルヴァ書房

企業発展の史的研究 鳥羽欽一郎 ダイヤモンド社

<演 習>

アジア近代化の研究 エートス 御茶の水書房

アジアの近代化 川野重任 東大出版

近代化の経済的基礎 高橋幸八郎 (他) 岩波書店
 近代化の社会経済理論 高島善哉 新評論
 近代日本思想史講座 7 近代化と伝統 筑摩書房
 日本近代化の研究 上・下 高橋幸八郎 東大出版
 日本資本主義と近代化 正田健一郎 日本評論社

白樫三四郎 <経営心理学>

経営行動の心理学 豊原恒男 (他) ダイヤモンド社
 人間関係の心理学 豊原恒男 (他) ダイヤモンド社
 リーダーシップ 三隅二不二 ダイヤモンド社
 組織行動の心理学 豊原恒男 (他) ダイヤモンド社
 組織の心理 タンネンバウム ダイヤモンド社

<演習Ⅱ>

新しい管理者像の探究 フィドラー 産業能率短大
 Group Dynamics in Japan 三隅二不二

日本グループ・ダイナミックス学会

科学論文の書き方 田中義磨 (他) 裳華房
 人間行動の社会心理学 原田一馬 金子書房
 社会心理学 水原泰介 東大出版
 辻 和夫 <交通論>

現代交通の理論と政策 広岡治哉 日本評論社
 交通学要論 前田義信 ミネルヴァ書房
 交通経済学 今野源八郎 青林書院
 交通資本の論理 池田博行 ミネルヴァ書房
 日本の交通問題 中西建一 (他) ミネルヴァ書房

<公企業論>

独立採算制批判 寺尾晃洋 法律文化社
 国家資本の理論 小谷義次 大月書店
 公企業批判 山本政一 ミネルヴァ書房
 公企業の経営学 大島国雄 白桃書房
 日本の公企業 独占分析研究会 新日本出版

経 済 学 部

吾郷 健二 <国際経済論>

現代の世界経済 木下悦二 有斐閣
 国家独占資本主義 大内力 東大出版
 国際金融論の新展開 中西市郎 (他) 新評論
 南北問題 森田桐郎 日本評論社
 資源ナショナリズム 西川潤 ダイヤモンド社

<外書講読Ⅰ>

現代経済を見る眼 力石定一 (他) 有斐閣
 科学としての経済学 杉原四郎 (他) 有斐閣
 経済学を学ぶ 川口弘 (他) 有斐閣
 経済学と現代 宮沢健一 (他) 有斐閣
 経済像の歴史と現代 杉原四郎 (他) 有斐閣
 近代経済学研究入門 宮崎義一 有斐閣

<外書講読Ⅱ>

経済白書 (昭和49年版) 経済企画庁 大蔵省印刷局

<演習Ⅰ>

貿易政策論 上・下 平岡謹之助 有斐閣
 日本の非関税障壁 小島清 (他) 日経新聞
 日本の資源問題 板垣与一 日経新聞
 世界貿易と多国籍企業 小島清 創元社
 資源論 黒岩俊郎 勁草書房

<演習Ⅱ>

貧困からの挑戦 ミュルダール ダイヤモンド社
 共産圏の貿易体系 プライヤー ベリかん社
 資源問題の展望 通産省 通商産業調査会
 資本の自由化と多国籍企業 藤原一郎 日経新聞
 統合ヨーロッパへの道 マルシャル 岩波書店
 フィルダー, L. G. <低開発国経済論>

経済発展論 上・下 キンドゥルバーガー 好学社

<演習Ⅰ>

経済発展論 ギル 東洋経済
 成長の限界 メドウズ (他) ダイヤモンド社
 原田三喜雄 <日本経済史 (他)>

経済学辞典 大阪市立大学 岩波書店
 日本経済辞典 中山伊知郎 (他) 講談社

木村 毅 <社会政策総論>

イギリス賃労働形成史論 浅田毅衛 白桃書房
 イギリスの社会と労使関係 間 宏 日本労働協会
 労働組合読本 (月刊労働問題増刊) 日本評論社

<社会政策各論>

経営参加 レビンソン 日経新聞
 国家独占資本主義と社会政策 相沢与一 未来社
 労働経済学 フライシャー 総合労働研究所
 多国籍企業と労働運動 レビンソン 日経新聞

<演 習>

現代日本の労働問題 管谷章 税務経理協会
 社会変革と労働組合運動 戸木田嘉久 大月書店
 職業病 東田敏夫 創元社

<演習Ⅱ>

イギリスにおける貧困と社会保障改革
 アトキンソン 光生館
 社会保障論 松尾均 至誠堂
 ソ連の社会福祉 マジソン 光生館
 スイスの社会保障制度 ザクサー 光生館

法 学 部

伊藤不二男 <国際法>

ケース・ブック国際法 田畑茂二郎 有信堂
 国際法 田岡良一 勁草書房
 国際条約集 横田喜三郎 (他) 有斐閣
 ビトリアの国際法理論 伊藤不二男 有斐閣

<法学>

- 法学概論 尾高朝雄 有斐閣
 法学概論 我妻栄 有斐閣
 川上宏二郎 <法学>
 外国法の調べ方 田中英夫 (他) 東大出版
 法労へのみち 熊谷開作 ミネルヴァ書房
 人権と裁判 今村成和 北大図書刊行会
 教材法学 恒藤・八木 ミネルヴァ書房
 知る権利 石村善治 (他) 有斐閣

<行政法 I>

- 行政法 新井隆一 成文堂
 行政法 (学説判例事典) 宮田三郎 東大出版
 行政法 高木武 鳳舎
 行政法の話 林修三 第一法規
 行政法入門 川口頼好 評論社

<行政法 II>

- フランス行政訴訟論 阿部泰隆 有斐閣
 現代損害賠償法講座 第4巻 日本評論社
 行政不服審査法解説 田中真次 (他) 日本評論社
 行政手続法概説 中村弥三次 自治日報社
 行政手続の法理 園部逸夫 有斐閣

<行政法演習>

- 演習行政法 山内一夫 (他) 良書普及会
 演習研究行政法 (総論) 判例集
 室井力 (他) 学陽書房
 演習研究行政法 (各論) 判例集
 室井力 (他) 学陽書房
 行政行為論講義 山内一夫 成文堂
 行政における私人の行為の理論
 新井隆一 成文堂

河 島 幸 夫 <政治学原論>

- 現代日本の政治文化 中村菊男 (他) ミネルヴァ書房
 近代政治機構論 吉富重夫 有信堂
 政治の中の人間 リブセット 創元社
 西欧の政治哲学者たち クランストン (他) 木鐸社
 西洋政治思想史 渡辺一 法律文化社

<政治史>

- ドイツ革命運動史 上・下 上杉重二郎 青木書店
 ドイツ社会民主党史序説 安世舟 御茶の水書房
 ドイツ社会運動史 服部英次郎 未来社
 社会主義の諸前提と社会民主党の任務
 ベルンシュタイン ダイヤモンド社
 ワイマール共和国の反民主主義思想
 ゴントハイマー ミネルヴァ書房
 <外書講読>

- 独ソ関係史 カー サイマル出版
 ヒンデンブルクからヒトラーへ
 ウイラー・ベネット 東邦出版

- カリガリからヒトラーへ クラカウア みすず書房
 白バラ抵抗運動の記録 ペトリ 未来社
 ワイマール大統領論研究序説 小林昭三 成文堂

<基礎演習>

- 意識と社会 ヒューズ みすず書房
 ロマン派からヒトラーへ ヴィーレック 紀伊国屋書店
 ローザ・ルクセンブルク 上・下 ネットル 河出書房新社
 ワイマール文化 ゲイ みすず書房
 ヴァイマール・デモクラシーとトホルスキ
 野村彰 ありえす書房

<演習>

- ファシズムと社会主義革命 ダット ミネルヴァ書房
 現代資本主義とファシズム 諫山正 ありえす書房
 ハンマーか鉄床か アンダーソン 東邦出版
 近代ドイツ政治思想研究 多田真鋤 慶応通信
 社会主義とファシズム ユール ダイヤモンド社

清 岡 雅 雄 <憲法>

- 憲法 鵜飼信成 弘文堂
 憲法講義 上・下 小林直樹 東大出版
 憲法要論 清宮四郎 法文社
 日本憲法論 清岡雅雄 酒井書店

<外書講読>

- English Law and the Moral Law
 Goodhart Stevensons
 The two Constitutions Stannard
 Van Nostrand

小田島真千枝 <法学>

- 現代法学入門 伊藤正己 (他) 有斐閣
 法の常識 渡辺洋三 (他) 有斐閣
 法と社会 碧海純一 中央公論社
 教材法学入門 伊藤正己 (他) 有斐閣

中 森 宏 <民事訴訟法 I・II>

- 演習民事訴訟法 上・下 小山昇 (他) 青林書院
 民事訴訟法 小山昇 青林書院
 民事訴訟法 新堂幸司 筑摩書房

<破産法>

- 演習破産法 斉藤秀夫 (他) 青林書院
 破産法 山木戸克己 青林書院

篠 倉 満 <刑事訴訟法>

- The anti-Imperialists, 1898-1900 Beisner
 McGraw-Hill
 イギリスの刑事裁判 ジャイルズ 評論社

- 刑事訴訟法 井戸田侃（他） 世界思想社
 刑事訴訟法講話 伊達秋雄 日本評論社
 市民のための刑事訴訟法 青木英五郎 合同出版
 Twelve Angry Men Washington Square
 高橋 貞夫 <社会法Ⅰ>
 現代法と労働法学の課題 沼田還暦記念
 総合労働研究所
 労働法の基本問題 沼田還暦記念 総合労働研究所
 労働法の諸問題 石井追悼論集 勁草書房
 労働法を学ぶ人のために 久保敬治（他）
 世界思想社
 <社会法Ⅱ>
 雇用保障法研究序説 林迪広 法律文化社
 労働法判例 青木宗也（他） 有斐閣
 労働組合の争議戦術 有泉亨 総合労働研究所
 社会保障法判例 佐藤進 有斐閣
 田辺 康平 <商法Ⅲ>
 会社法 服部栄三 ミネルヴァ書房
 会社法 鈴木竹雄 弘文堂
 新商法演習3 鈴木竹雄（他） 有斐閣
 商法総則講義 服部栄三 文真堂
 手形法・小切手法 蓮井良憲 法律文化社
 <商法Ⅳ>
 保険契約法の諸問題 石田満 一粒社
 保険契約の法理 倉沢庸一郎 慶応通信
 会社法務事故百科 星川長七（他） 金融財政事情
 交通事故と責任保険 金沢理 成文堂
 セミナー法学全集9（法学セミナー別冊）
 日本評論社